

今年度の治験啓発キャンペーンについて

2008年12月2日

日本製薬工業協会



製薬協

製薬協グッドコミュニケーション テーマ

グッドコミュニケーション

製薬産業と医薬品に対して、広く医療消費者の理解と信頼を得るために、より良い相互のコミュニケーションを図ること、同時に製薬産業のメッセージをわかりやすく伝えること。

《今年のテーマ》

「新薬の価値－治験－」（昨年と同テーマ）

新薬の開発過程で欠かせない「治験」は、患者さんはもとよりさまざまな人たちの協力が不可欠であることから、医療消費者に「治験」の考え方、必要性を理解いただき新薬の価値についてより深い認識を持っていただく機会とする。

治験について啓発する意義

研究開発を使命とする製薬産業にとって、新薬開発の重要プロセスである「治験」は常に重要なテーマ

- 「新たな治験活性化5カ年計画」、「革新的創薬のための官民対話」のフォロー、
- 新薬の研究開発環境の整備、充実



◎国民の治験への認知度向上と協力促進

◎昨年に引き続き08－09年製薬協キャンペーンとして「新薬の価値－治験－」をテーマに展開することに決定

新薬の研究開発、治験を取り巻く動き

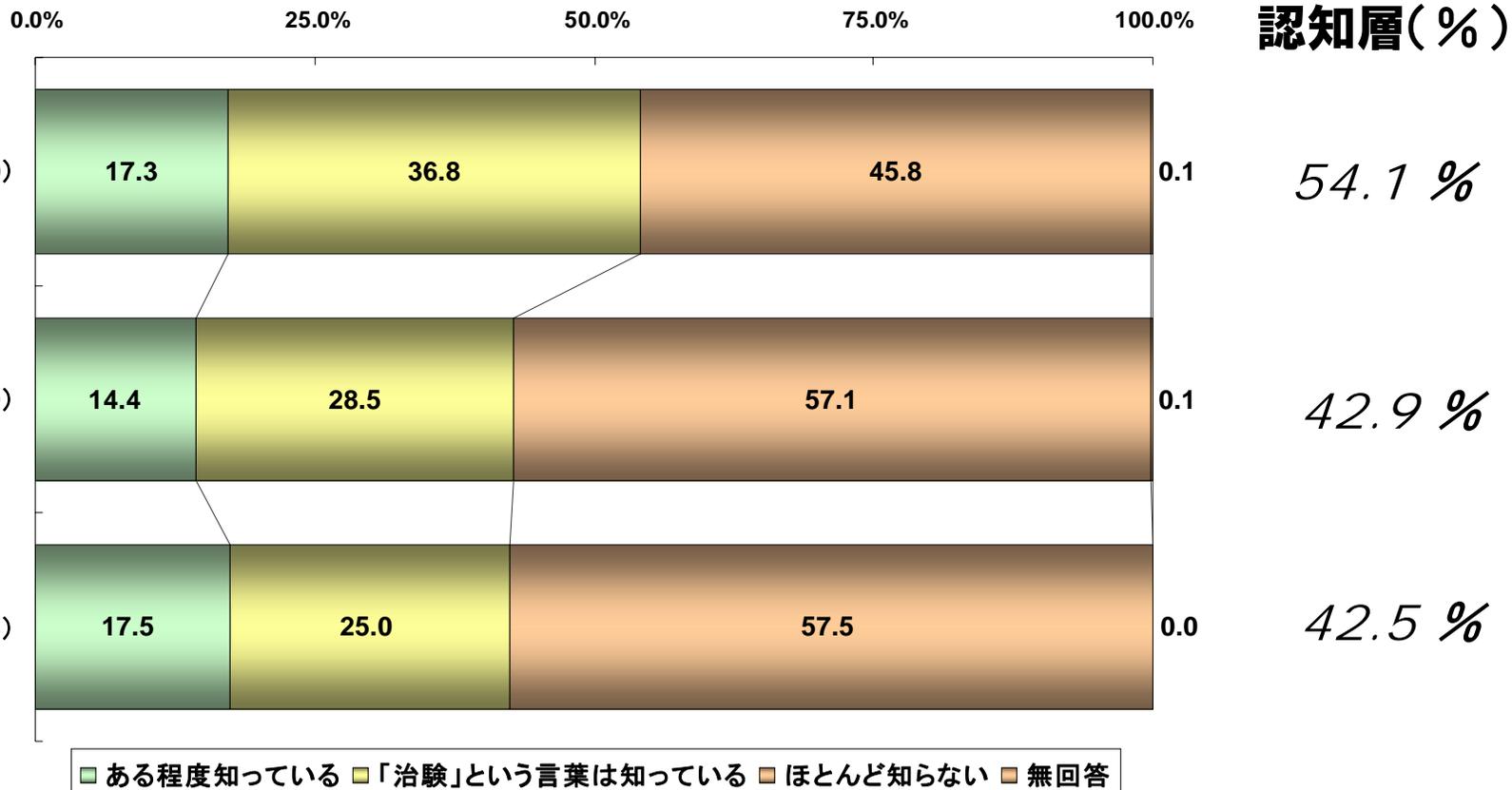
- 「**新たな治験活性化5カ年計画**」(2007年3月)
 - ①中核病院・拠点医療機関の体制整備
 - ②治験・臨床研究を実施する人材の育成と確保
 - ③**国民への普及啓発と治験・臨床研究への参加促進**
 - ④治験の効率的実施および企業負担の軽減
- 「**革新的医薬品・医療機器創出のための5か年戦略**」(2007年4月)
 - ①研究資金の集中投入 ②ベンチャー企業育成等
 - ③**臨床研究・治験環境の整備** ④アジアとの連携
 - ⑤審査の迅速化・質の向上 ⑥イノベーションの適切な評価
 - ⑦官民対話

治験に対する認知状況

05年に比べ、治験の認知度は11.2ポイント増

● 治験の認知度

「第5回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査」

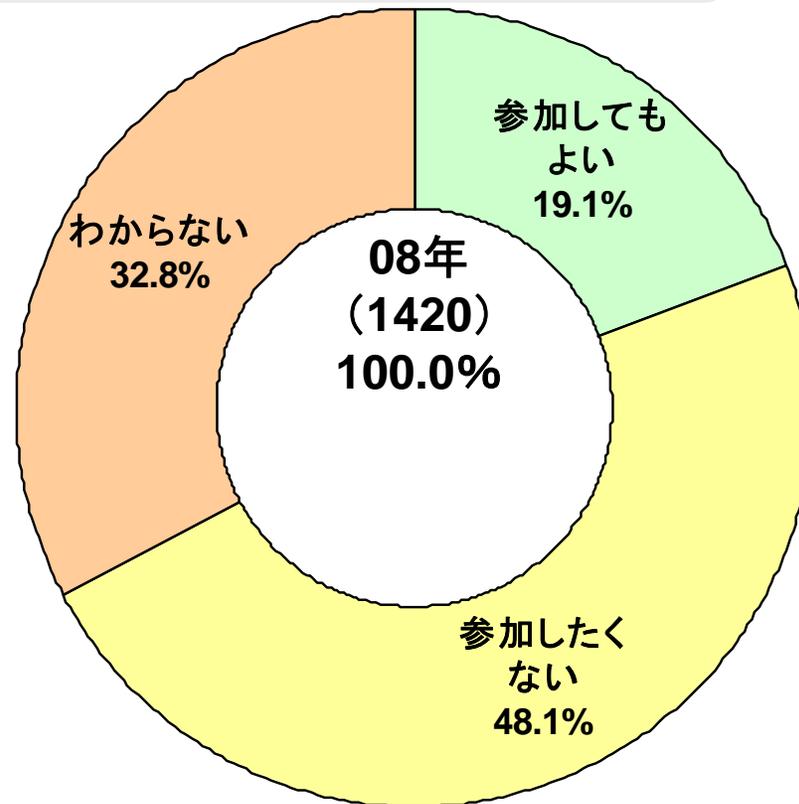


治験に対する参加意向

「参加したくない」、「わからない」が8割以上を占める

● 治験への参加意向

「第5回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査」



治験への参加理由

08年は「新しい薬を試すことができる」が最も多く、「次の世代のためになる」が続いている

● 治験に参加してもよいと思う理由【複数回答】
「第5回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査」

